

令和2年1月6日発行

No.167
新年
合併号

伊賀市社協だより



謹賀新年

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は地域福祉の推進に関しまして、一方ならぬご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。お陰様で、伊賀市社会福祉協議会は設立15年が経過しました。

今年は早々に、本部事務所の移転という大事業を予定しており、新たな出発を期したいと願っています。

社会福祉協議会という社会福祉法人は、市民ひとりひとりが会員となつて、みんなで自分たちの住んでいるまちの暮らしをしあわせにする団体です。そのためには、市民みなさまの様々なご支援、ご協力、ご参加を欠くことができません。一人の不幸もなく暮らせるように、それぞれの力を發揮して下さるようお願い申し上げます。

最後になりましたが、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。簡単でございますが、年頭のあいさつとさせていただきます。

令和二年 元旦

(福)伊賀市社会福祉協議会 会長 福壽勇

役職員一同

おしえて★

その②⑥
「民生委員・児童委員ってなんだぐり？」の巻

地域のふくし



ぼく、三重県伊賀市の観光大使、いが☆グリオだぐりよ！伊賀市に住んでいる小学校3年生として、だいすきな伊賀のふくしのこと、もっと知りたいぐりっ★

今月お答えするのは

法人運営部 総務課の豊島里奈です。民生委員・児童委員について、ご紹介します！



ねえねえ、民生委員・児童委員ってなんだぐり？

はい。民生委員・児童委員とは、**地域住民の立場にたって地域の福祉を担うボランティア**です。民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。給与の支給はなく、ボランティアとして活動をしているんですよ。



そうなんだぐりね。どんな人が民生委員・児童委員になっているぐりか？

地域のことをよく知り、福祉やボランティア活動に理解や熱意がある住民の中から民生委員・児童委員が選ばれています。伊賀市では、定数 309 名の民生委員・児童委員が活動されています。任期は3年で、再任も可能です。令和元（2019）年 12 月 1 日に、3年に1度の全国一斉改選が行われ、厚生労働大臣から委嘱状が交付されました。みなさんのまちの民生委員・児童委員は、「広報いが市」12月1日号で紹介されています。



へえ！民生委員・児童委員は普段どんな活動をしているぐりか？

地域のみなさんが、安心して暮らしていくためのさまざまな相談を受け、必要な支援や福祉制度の利用、子育てサービスなどへつなぐ役割をしています。また、子どもや子育てに関する支援など、児童福祉活動に専任する主任児童委員がいます。



地域の見守り



身近な相談先

ネットワークづくり

支援へのつなぎ役

民生委員・児童委員



民生委員・児童委員のマーク



ナルホド！ところで、民生委員・児童委員がつけているバッジのマークのデザインは、何を表しているぐり？

このマークは、幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と、児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、**愛情と奉仕**を表しています。



★民生委員・児童委員は、僕たちの一番身近な相談相手なんだぐりね！僕も、ご近所で困りごとのある人がいたら、民生委員・児童委員のみなさんに相談してみるぐり！



あかいはね
キッズクラブ

「あかいはね共同募金」のふしぎ～



? どうして「あかいはね共同募金」をするの？

私たちのすむ町には、お年寄りや障がいのある人、子育て中の人など、くらしていくのに助けが必要な人たちがいます。みんながくらしやすくなるお手伝いをするために、みんなでちょっとずつ助けあう。それが「あかいはね共同募金」です。

助けが必要な人たちのために、いろいろなボランティア団体などが活動しています。活動に必要なお金を1人で出すのは大変なことだけど、みんなでちょっとずつ寄付すれば、より多くのお金が集まって、たくさんの人が活動にかかわることができます。



ボランティア団体などがバラバラに募金活動をする、どこへ寄付すれば良いか迷ってしまうので、「共同募金」としてまとめて募金活動をして、共同募金会が審査して必要なところに助成をしています。

「あかいはね子ども相談室」

フリーダイヤル 0120-137-741

10:00～16:00（土日祝・年末年始は休）

■平成30年度 伊賀市共同募金委員会実績額
12,600,802円

■伊賀市共同募金委員会からの主な配分事業

- ふれあい・いきいきサロンへの助成
- 地域福祉に取組む団体への助成
- 障がい者や高齢者世帯等の火災警報器取り付け支援
- 子育てサロンへの講師派遣
- 災害見舞金・災害救援支援金給付 ほか

『患者からの医薬品副作用報告』について
伊賀市立上野総合市民病院

医療技術部薬剤課 森本 亮太

「患者からの医薬品副作用報告」という制度をご存知でしょうか？

これは、医薬品による副作用が疑われる情報を、患者さん又はその家族から直接、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下、PMDA）に報告していただくものです。

PMDAは、医薬品の副作用等による健康被害に對しての救済、医薬品・医療機器等の品質・有効性・安全性について発売前の段階から指導・審査し、発売後も安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う独立行政法人です。厚生労働省が定める「患者からの医薬品副作用報告」実施要領に基づき副作用報告を受け付けており、皆様からの情報は個人情報を除いて厚生労働省に報告されます。

副作用情報は、医薬品の安全対策を行う上で非常に重要な情報のひとつです。たくさん副作用報告をしていただくことで、未知の副作用が起きていることを認識し、医療関係者や患者さんに対して注意喚起をすることができます。医薬品は発売前にさまざまな試験を行い副作用や安全性の確認を行ってからの発売されますが、それだけではすべての副作用を把握することは難しいため、皆様からの副作用報告がこれからの薬の安全な使用に役立ちます。報告の対象になる医薬品は、病院や診療所等で

処方してもらう薬の他に薬局やドラッグストアなどで購入する薬（要指導医薬品・一般用医薬品）、予防接種のワクチンも対象となります。

PMDAでは医薬品等を適正に使用したにもかかわらず、入院が必要となる程度の疾病や日常生活が著しく制限されるような障害等の健康被害を受けた方の救済活動も行っていますが、「患者副作用報告」は、救済給付の請求とは異なりますので別の手続きが必要となります。なお、副作用が疑われる症状がある方は、まず医療機関にご相談ください。

患者副作用報告は、医薬品の安全対策に活用するために、適正な使用により発生した副作用の状況を把握するための仕組みですので、その趣旨をご理解の上、ご報告をお願いいたします。

報告方法

など、詳しくはPMDAのホームページ又はPMDAクリ相談窓口でお確かめください。

■伊賀市立上野総合市民病院

TEL 05995 (24) 1111
FAX 05995 (24) 2268



■特集■権利をまもる事業の紹介

自分らしい生活を送るお手伝い

いが日常生活自立支援センター

判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用援助や金銭管理を通して本人の自立を支援する「**日常生活自立支援事業**」を実施しています。

センターには、認知症や精神障がい、知的障がいなどにより、お金の管理が自分で難しくなっている、郵便物の内容の理解が難しく支援してほしい、サービスの利用料や光熱水費の支払いが滞っているなど、関係機関からの相談が多く寄せられます。

センターでは、①福祉サービスの利用援助 ②日常的な金銭管理 サービス ③書類等 預かりサービスを実施しています。



専門員 松岡 和美

まだ一部の人にしか知られていない事業ですが、広く正しく理解していただき、必要な方に必要な支援を届けたいです。不安があれば、まずは社協に相談してください。



専門員 福井 みずほ

日常生活自立支援事業は、ご本人の意思により、利用の決定ができます。自分らしく安心して生活を送るひとつのツールとして、ご本人に寄り添いながら、支援させていただきます。

スタッフはみな社協職員で、6名の専門員と、20名の生活支援員がいます。生活支援員は、養成講座を修了した市民の方で、地域生活者だからこそ気づけることもあります。利用者は県内で約1,800人、伊賀市では203人が利用されており、県内で3番目に多いです。(令和元年11月末現在)

利用されている方からは、「一人暮らしで何もかもしないといけないことへの不安があったが、相談できる人が増え、助かった。心強い」など、安心感を持ってご利用いただいています。

○いが日常生活自立支援センター ☎0595-21-9970 ((福)伊賀市社会福祉協議会)

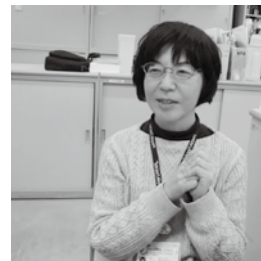
私のこれからは私が決める

伊賀地域福祉後見サポートセンター

「**成年後見制度**」は、認知症・知的・精神の障がい等で判断能力が不十分な状態にある方の、暮らしを支えるしくみのひとつです。伊賀市では171名が制度を利用しながら暮らしています。(令和元年7月現在)

センターには、家族、高齢者や障がい者の支援機関等から、入院費用を本人の口座から出したいが、金融機関で家族ではできないと言われた、病院や施設に入るために身元保証人を就けるよう言われた、高額で不必要な買い物をして返して心配、急な入院に備えてできる準備をしておきたい、判断能力がより低下し、日常生活自立支援事業の利用が難しくなった等をきっかけに、相談がよせられます。

また、最近では、将来判断能力が低下した時に備え、自分が決められるうちにお金(財産)の使い方や生き方を決めておきたいと、



相談員 市川 しのぶ

「**任意後見制度**」の問い合わせも

あります。

センターでは、家族、高齢者や障がい者の支援機関等と協力し、制度が必要な方が利用できるようなお手伝いをしています。また、市民に広く制度や後見人の役割を知ってもらうため、「福祉後見人養成研修」も開催しています。修了者は252名で、うち2名が実際に活動しています。



○伊賀地域福祉後見サポートセンター ☎0595-21-9611 ((福)伊賀市社会福祉協議会)

伊賀流 支え合い地域づくり研修会

「ありがとう、おたがいさま」と、助けあうことができる。
行きたい場所に、移動できる。
気軽に集える、居場所がある。

伊賀市で安心して暮らし続けることのできる、支え合いの地域づくりを考えてみませんか？

個人情報

2/4 (火)
13:30～15:30
阿山保健福祉センター
(伊賀市馬場1128-1)

地域や家族の支える力が減少する中、個人情報の取扱いについて正しく理解し、住民同士が助けあえるおたがいさまの地域づくりを学びます。

講演／「**地域の見守り活動における個人情報の取扱いについて**」
講師／岩手大学地域防災研究センター客員教授
銀座パートナーズ法律事務所代表弁護士・博士（法学）
弁護士 岡本 正さん

移動支援

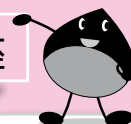
2/21 (金)
13:30～16:00
阿山保健福祉センター
(伊賀市馬場1128-1)

ドライバーの高齢化や公共交通の維持、通院や買い物の手段の確保が課題になっています。移動しやすい地域づくりを学びます。

1部 13:30～ 講演／「**住民主体の移動・外出支援の仕組み**」
講師／NPO法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎民子さん
2部 15:10～ 質問・相談会

居場所

市民ふくし大学基礎講座 第21期 **いが見守り支援員 養成公開講座**



2/29 (土) 13:30～15:30
大山田産業振興センターどんぐりホール (伊賀市平田 950-1 ☎46-2011)

どなたでも受講いただけます。
専門講座を終了すると、いが見守り支援員に認定します。

第4回 **伊賀流 ぶちけ談義**

おいしく たのしく いこいの場
だあれでも ゆ～つくり
いっぶくしてだぁ～こ



田楽定食 ▶ 500円



様々な目的で集える、地域の居場所に。



地域の銘菓「栗石(がしめい)」
11個170円(税込)で販売中*

プログラム

- ◆市民ふくし大学講座見守り支援員ガイダンス
- ◆事例紹介／いっぶくしてだぁ～こ スタッフ 吉井節子さん ※他事例地域依頼中
コーディネーター／皇學館大学 教育開発センター 准教授・副センター長 板井 正斉氏

参加費無料・申込不要

■問い合わせ先 (福)伊賀市社会福祉協議会 ☎21-5866・FAX26-0002

情報支援が必要な方は、お早めにご連絡ください

ボランティア・市民活動NEWS

伊賀リフォーム研究会
新春講演会のご案内

高齢者や体調に支障のある方の住まいの改善に四半世紀を越えて取り組んできた「伊賀リフォーム研究会」が、今回住まいを取り巻くまちに視野を移して、新春講演会として、主に四日市市で長年まちづくりに取り組んできた「NPO法人UDほっと」より講師をお招きし、お話を伺います。関心のある方々のご来場をお待ちしています。

【テーマ】『ユニバーサルデザインのまちづくりに欠かせない当事者の声』
【講師】NPO法人UDほっとと理事長 伊藤順子氏
理事 井上雅之氏（視覚障碍者）
【日時】1月15日（水）13時30分
【場所】ハイトピア伊賀5階 生涯学習センター学習室2
【主催】伊賀リフォーム研究会
☎21・5866（伊賀市社協）

認知症・介護予防
教室のご案内

音楽療法うたおう会を通して楽しく健康づくりをしませんか？
はじめての方も大歓迎！
（参加費無料・申込不要）

音楽療法うたおう会

《上野会場》

【日時】1月22日（水）10時～11時
2月26日（水）10時～11時

【場所】ハイトピア伊賀5階
※駐車場は有料となります。

《島ヶ原会場》

【日時】2月6日（木）10時～11時

【場所】島ヶ原福祉センター「清流」
《阿山会場》

【日時】1月14日（火）14時30分～15時30分

【場所】阿山保健福祉センター
《大山田会場》

【日時】1月8日（水）13時30分～14時30分

【場所】大山田保健センター
《青山会場》

【日時】2月14日（金）10時～11時

【場所】青山福祉センター
※教室に関するお問い合わせは、各地域センターまでお願いします。

多文化共生推進
講演会のご案内

全国的にみても、外国人住民の多い伊賀市。高齢化が進む中で、今後ますます外国人人材の活躍が期待されます。国籍や民族など異なる背景を持つ私たちが共に暮らしていくためには、何が必要でしょうか。多文化共生の先駆者である田村太郎さんが、これから求められる地域の取り組みについて、ユーモアを交えながら熱く語ります。（事前申込必要）
【日時】2月3日（月）18時～20時
【場所】県伊賀庁舎7階大会議室
【テーマ】なぜ多文化共生なのか～これからの地域に求められる取り組みを考えよう～
【講師】ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎氏
【申込・問い合わせ先】
1月7日（火）～27日（月）の間に、お電話にてお申込ください。
伊賀市国際交流協会 ☎22・9629
午前9時～午後5時・土日祝除く

後見人のつどいの
ご案内

「後見人のつどい」は、日頃の後見活動でわからないこと、不安に感じていること等を後見人同士で語り合い、専門家の助言を受け、より良い後見活動につなげていくためのものです。

当日は、日頃後見活動をしていて、わからないこと、困ったこと、不安に感じていることの相談に、弁護士、医師、社会福祉士などが応じます。日頃、後見活動されている方で、一人で不安に感じている方・仲間づくりをしたい方、ぜひご参加ください。

若者の職業的自立のための総合相談窓口

いが若者サポートステーション

～15～39歳までの「働きたい悩みを抱えている人」を支援しています～

★就職相談と各種講座をしています（要予約）★

「この仕事、できるかなと…」と悩んでいますか？

今はできなくても、学習や訓練によってできるようになるだろうという可能性や潜在能力を知ることができます。

→『厚生労働省編一般職業適性検査（GATB）』随時、実施中です。要申込。

■住所／伊賀市上野丸之内57-4 センタービル1階

■☎&Fax／0595-22-0039 ■メール／iga-saposute@npo-en.or.jp

■開所日／月～金曜日 9:00～17:00（土・日・祝 年末年始は休み）

ハローワーク伊賀 出張相談日／1月15日（火）・2月18日（火） 13:00～16:00

無料 サポステ

無料「パソコン講座」開催

【PC入門 ワード・エクセル・パワーポイント】

●日程 2月5日（水）/7日（金）

/10日（月）/12日（水）/14日（金）

●時間／10:00～15:15



【日時】2月20日（木）13時～15時
【場所】上野ふれあいプラザ3階
【対象者】後見人もしくは被後見人が伊賀市・名張市の方
【参加費】無料
【申込方法】2月14日（金）までに電話、FAX、メールでお申し込みください。
【申込・問い合わせ先】
（福）伊賀市社協本部内
伊賀地域福祉後見サポートセンター
☎21・9611・FAX 26・0002
メール kouken@hanzou.or.jp

赤い羽根共同募金配分事業 福祉映画会

長いお別れ



© 2019「長いお別れ」製作委員会 (C)中島京子/文藝春秋

父、昇平（山崎努）の70歳の誕生日。久しぶりに集まった娘たち、芙美（蒼井優）と麻里（竹内結子）に母・曜子（松原智恵子）から告げられたのは、厳格な父が認知症になったという事実だった。それぞれの人生の岐路に立たされている姉妹は、思いもよらない出来事の連続に驚きながらも、変わらない父の愛情に気づき前に進んでいく。ゆっくり記憶を失っていく父との7年間の末に、家族が選んだ新しい未来とは一。

監督・脚本：中野量太 原作：中島京子「長いお別れ」（文春文庫刊）
脚本：大野敏哉 主題歌：優河「めぐる」
出演：蒼井優 竹内結子 松原智恵子 山崎努 蒲田優惟人
中村倫也 北村有起哉 杉田雷麟

ゆっくり記憶を失っていく父との、お別れまでの7年間。
笑って泣いて、前に進んでいく家族たちの、新たな愛の感動作！！

■と き／2020年1月19日 日

①9:45～ ②13:30～

■ところ／前田教育会館 蕉門ホール

（伊賀市大谷 670 ☎24-5511）

※鑑賞券／一般前売券 1,000円（当日1,300円）
小中高生前売券 800円（当日1,000円）

鑑賞券をご希望の方は、伊賀市社協各地域
センターまたは前田教育会まで。

○主催／公益財団法人前田教育会 ○後援／（福）伊賀市社会福祉協議会・三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会
○問い合わせ先／公益財団法人前田教育会 ☎0595-24-5511・伊賀市社会福祉協議会 ☎0595-21-5866

更生保護女性の会上野支部
チャリティバザー

伊賀市更生保護女性の会上野支部では、チャリティバザーを開催します。ぜひ、買いに来てください。

【日時】2月2日（日）

9時30分～14時30分

【場所】うえせん白鳳プラザ

【内容】衣類・日用品・寝具・雑貨・食料品などの販売

【問い合わせ先】

伊賀市更生保護女性の会上野支部

吉川博子（☎21-2894）

音訳奉仕者講習
会受講生募集

視覚障がい者福祉やボランティア活動に関心のある人に、音訳技術（聞き取りやすい読みの技術）の基礎を学んでいただき、録音図書の製作等に携わっていただくことで、録音図書の増加を図り、視覚障がい者の読書環境の支援と福祉の増進に寄与します。

【日時】

①平日コース（全て金曜）

4月17日、5月15日、5月29日

②土曜コース

4月18日、5月16日、5月30日

（10時～12時・13時～15時）

※両コースとも、初日は午前中のみ。

1回2時間、全5回、3日間

【場所】

三重県視覚障害者支援センター

【対象者】

講習会全日程に参加でき、音訳の経験がなく、パソコンの使用ができる方

【受講料】

受講料無料

テキスト代（880円）が必要

【内容】

①視覚障がい・ボランティアについて
②正しく伝える為の音訳基礎知識・実習

③グループ紹介、活動に向けての案内
【申込締切】

3月25日（水）必着

【問い合わせ先】

三重県視覚障害者支援センター
まずはお電話いただくか、ホームページをご覧ください。

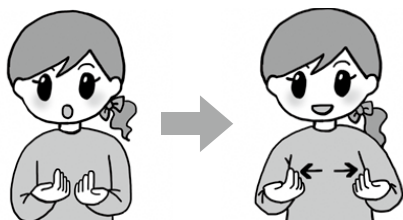
☎059-213-7300

<http://www.zcztv.ne.jp/mieten/p/>

今日からできる簡単手話講座

* お久しぶり *

4指の背を付け合わせて指を立てた
両手を左右に引き離す。



伊賀市健康福祉部障がい福祉課 ☎22-9657

数字で見る伊賀市の福祉

令和元年1月30日現在(前々月比)

伊賀市の人口	91,277人(-72人)	※集計処理の関係で前々月末日時点の数値です。
65歳以上の高齢者	29,695人(+38人)	※伊賀市の人口は外国人住民を含めた数です。
高齢化率	32.5%(±0.0%)	※65歳以上の高齢者及び高齢化率には外国人住民も含まれています。
75歳以上の高齢者	15,903人(+21人)	※75歳以上の高齢者及び後期高齢化率には外国人住民も含まれています。
後期高齢化率	17.4%(±0.0%)	※75歳以上の高齢者の全人口に占める割合を後期高齢化率と表記しています。
介護保険認定者数	6,237人(+14人)	※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。

あなたのまちのふれあい・いきいきサロン(154)

七本木いこいサロン



メンバー数／15名～20名
開催場所／七本木公民館他
開催頻度／月1回

昨今、七本木地区では高齢化に伴い、外出したり、人と会う機会が減り、人と話をする機会も少なくなってきました。女性同士が集まるおしゃべり会、お食事会などはあったものの、男性参加はありませんでした。そこで、老人クラブや地区内のグループの集まりも含め、「地域ぐるみでみんなが集える居場所づくり」をテーマに「七本木いこいサロン」を立ち上げ、昨年6月ふれあい・いきいきサロンとして登録しました。

七本木いこいサロンは、日常生活の情報交換、その他健康に関すること、防犯・防災など地域生活に関わる事についてコミュニケーションを取る場となっています。また、地区内の方がオカリナを演奏したり、大型紙芝居や、おりがみをするなど、地域住民の特技の発表の場、あるいは役割を創出できる場となっています。そのほかにも外部講師を招き、健康に関する講座を開催しました。

今は代表者など事務局主体で運営をしていますが、少しずつ参加型で運営できるように、気軽に「いこいこ」と声を掛け合って参加できるサロンにしていきたいと思います。

●活動を始めたきっかけ

元国鉄マンで、運転士一筋に勤める一方、労働組合活動でも奮闘してきました。退職後は町議会議員を1期務め、その後はまちづくり協議会の事務局長として、健康福祉分野にも関わることになりました。現在は、まちづくり協議会の会長として、福祉・介護・保健・医療の各機関と連携しながら、健康で幸せな暮らしが出来る西柘植地域を目指しています。

●活動内容

平成30年2月に発足した「西柘植福祉ネット」は、まちづくり協議会の運営会議の場が地域福祉ネットワーク会議となっています。住民、地区、学校、各種団体などの課題を共有し、まちづくり協議会の事業や、関係機関と協働し課題解決を進めていく場となるようにすすめています。

●今後の抱負

区単位の課題解決に向けて、西柘植9地区での地域会議の設置、さらには生活支援サービスの実施、高齢者や障がい者に対する見守りの仕組みの構築、小地域活動の拠点や居場所づくり、小学校登下校時の見守りなど、安全安心な「西柘植の郷」を目指して積極的に取り組んでいきます。



おくざわ しげひさ
奥澤 重久さん (71歳)
いがまち在住
西柘植地域まちづくり協議会
会長

我らふくしレジャー

No.162

編集・発行



社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会

〒518-0869

伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階

TEL:0595(21)5866/FAX:0595(26)0002

E-mail:info@hanzou.or.jp(本部) ueno@hanzou.or.jp(上野福祉センター)

〒519-1413

伊賀市愛田513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」

TEL:0595(45)1012/FAX:0595(45)1050

E-mail:iga@hanzou.or.jp

〒519-1711

伊賀市島ヶ原4743番地 島ヶ原福祉センター「清流」

TEL:0595(59)3132/FAX:0595(59)3145

E-mail:shimagahara@hanzou.or.jp

〒518-1313

伊賀市馬場1128番地の1 阿山保健福祉センター

TEL:0595(43)1854/FAX:0595(43)1577

E-mail:ayama@hanzou.or.jp

〒518-1422

伊賀市平田656番地の1 大山田福祉センター

TEL:0595(47)0780/FAX:0595(46)1165

E-mail:ooyamada@hanzou.or.jp

〒518-0226

伊賀市阿保1988の1番地 青山福祉センター

TEL:0595(52)2999/FAX:0595(52)3555

E-mail:aoyama@hanzou.or.jp

●伊賀市社会福祉協議会ホームページ● <http://www.hanzou.or.jp/>

を便す合防野タ協おざ
ご。福署ふーの願いま
了。移社をれは、本い
承迷転社改あ、部致
く惑転会修い4及し
だをに館一した月び
さい。際に移「プら
けまし伊ザから上
すお賀から野伊
る致賀現地賀
ことま総消上セ
こと不ま総消上セ

編集後記

この広報誌は、社協会費、有料広告費等により発行しております。

No.167

新年合併号

8